

<スイートコーン・アオクサカメムシ>



苞葉上で交尾中のアオクサカメムシ

苞葉に群がるアオクサカメムシの幼虫



吸汁加害の痕跡

<スイートコーン・アオクサカメムシ>

学名：Nezara antennata Scott 英名：green stink bug

1. 症 状

成虫が雌穂に飛来し、苞葉上から未熟子実を吸汁加害する。加害された子実は、褐色斑紋状に変色する。乳熟期加害の場合は、さらに凹みを生じ、粒は萎縮する。苞葉上から加害するため、消費者の手に渡るまで被害がわからない場合が多い。

2. 発生条件

山間地や周囲にマメ科作物のある場所で発生が多い。また、甘みの強い品種（バイカラー系など）ほど被害が大きい。

3. 防 除

防除基準に基づき、アワノメイガと同時防除する。

4. 記 事

本種は、1991年7月下旬～8月上旬に八王子市で発生が多かった。